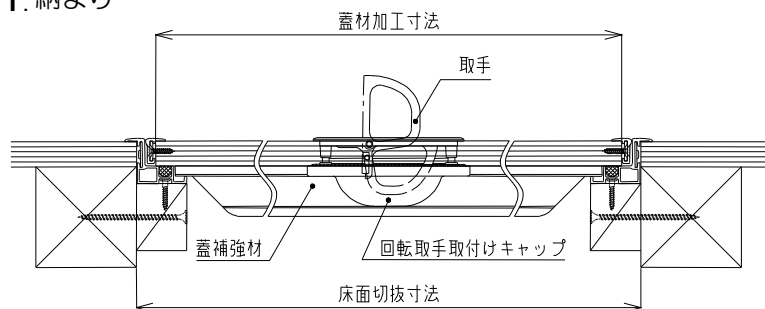


気密型ホーム床点検口 HDX [21] 型

1. 納まり



※対応蓋材厚さについて

商品記号 (HDX~) の末尾に **21** がつく場合は対応蓋材厚さが **21mm** 用
 商品記号 (HDX~) の末尾に **21** がつかない場合は対応蓋材厚さが **15mm** 用

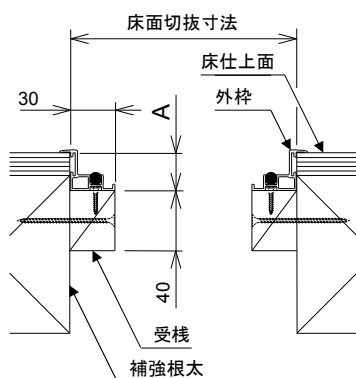
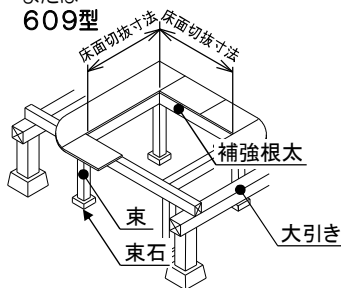
■付属部品明細表

付属部品名	入数		
	60	609	612
取手	1	2	2
回転取手取付けキャップ	1	2	2
なべ小ねじ(M4×16 または 22)	2	4	4
平座金(呼び径 4)	2	4	4
さらタッピンねじ(3×16)	8	16	16
さら木ねじ(3.1×20)	8	10	12
蓋補強材	2	2(4)	4
なべタッピンねじ(4×12)	8	8(16)	16
中間補強	—	1	—
蓋補強材受け樹脂	8	8	16

入数 609 の () 内は蓋補強材 (L382) 4 本仕様

2. 床組み

◆60型 または 609型



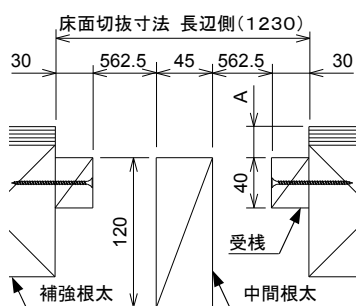
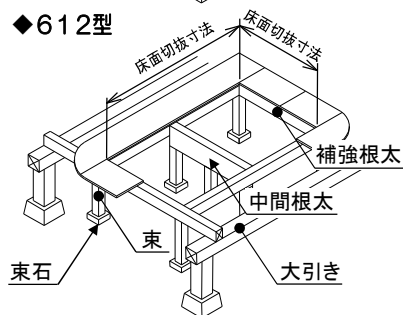
①床面切抜寸法で点検口を設置する床面を開口し、補強根太を全周にまわします。

※HDX612[21]型の場合は、床面切抜寸法の長辺側のセンターに垂直になるように左の図の寸法にて中間根太を渡します。

②床面開口部に外枠をはめ込みます。(仮置き)

③床仕上面からA寸法の段になるように、30×40mmの受棧をまわします。

◆612型



機種名	床面切抜寸法 (mm)	対応蓋材厚さ	A寸法 (mm)
60型	620×620	15mmタイプ	26
609型	901×620	21mmタイプ	32
612型	1230×620		

△床の強度は、束を入れ十分確保してください。

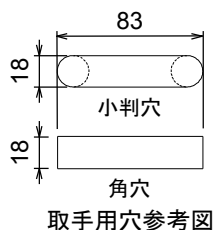
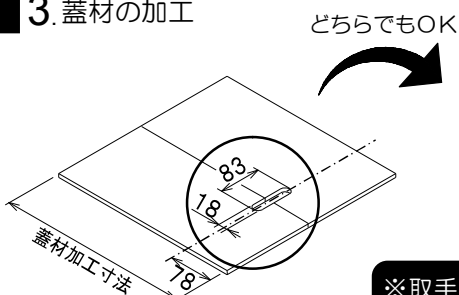
△切抜いた床材は、蓋材に使用してください。

△改築の場合、下面の配管にご注意ください。

△床下に断熱外枠が縦に入る高さがない場合は受棧を取付けるまえに、断熱外枠を床下に入れてください。

△受棧はコーススレッド (L=60mm以上を推奨) で取付けてください。(1辺5本以上での取付けを推奨)
 (609型の場合、長辺側は7本以上での取付けを推奨)
 (612型の場合、長辺側は9本以上での取付けを推奨)

3. 蓋材の加工



※取手用の開口は小判穴または角穴 (どちらも可)

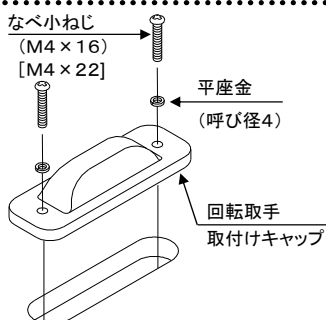
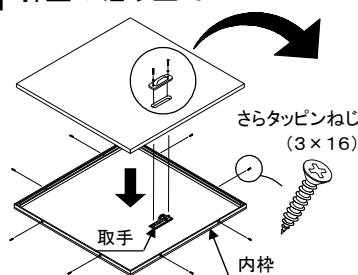
①蓋材加工寸法に、蓋材 (切抜いた床材) を切断し、左図のように端から78mm・センターの位置に取手の開口、小判穴または角穴 (18×83) を設けます。

機種名	蓋材加工寸法(mm)
60型	597×597
609型	597×433 (2枚)
612型	597×597 (2枚)

△厚みは、15mm または 21mmになるようにしてください。

△板材で継ぎ目がある場合は、継ぎ目が中央にくるように切断してください。

4. 蓋の組み立て



※ [] は21mm用の場合

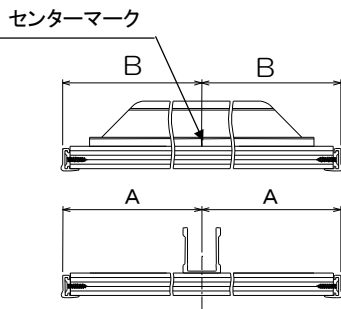
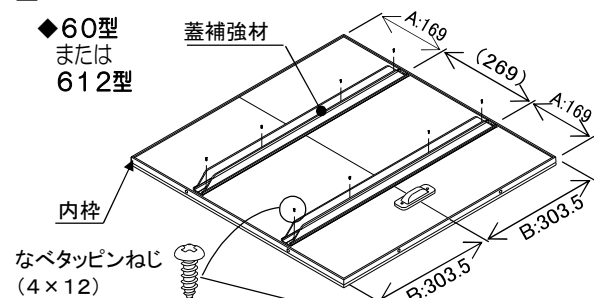
①内枠を裏返し、加工した蓋材をはめ込みます。

②内枠の外側から、内枠と蓋材をさらタッピンねじ (3×16) で固定します。

③蓋材になべ小ねじ (M4×16) [M4×22] で取手と回転取手取付けキャップを取り付けます。

5. 蓋補強材の取り付け

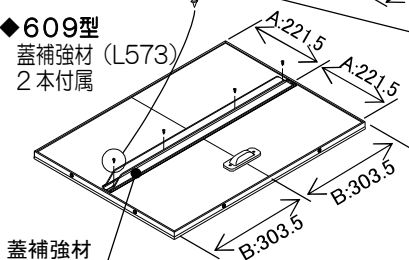
◆60型
または
612型



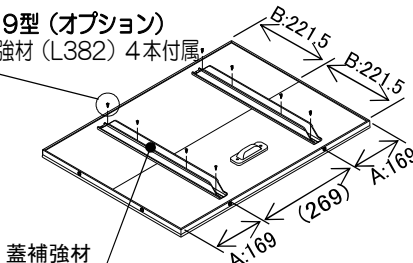
①蓋補強材は、蓋材の裏面になべタッピンねじ(4×12)で固定してください。
※このとき、板の継ぎ目と直角になるようにしてください。

△蓋補強材は各型それぞれ左図のように取り付けてください。

◆609型
蓋補強材(L573)
2本付属

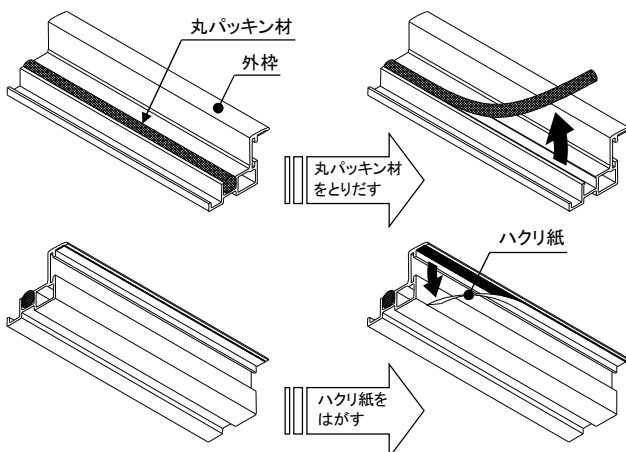


◆609型(オプション)
蓋補強材(L382)4本付属



機種名	A寸法 (mm)	B寸法 (mm)
60型/612型	169	303.5
609型 蓋補強材(L573)2本	221.5	303.5
609型 蓋補強材(L382)4本	169	221.5

6. 外枠の取り付け



①外枠に入っている丸パッキン材を取り出します。
(丸パッキン材を外すとねじ穴があります。)

②額縁の裏側にある両面テープ(気密材)のハクリ紙をはがし、開口した床面に外枠をはめ込みます。

③外枠と床面、外枠と受棧の間に隙間が生じないように注意し、さら木ねじ(3.1×20)で外枠を受棧に固定します。

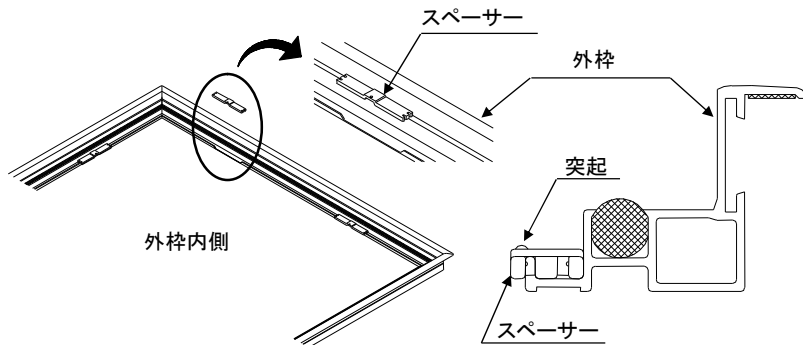
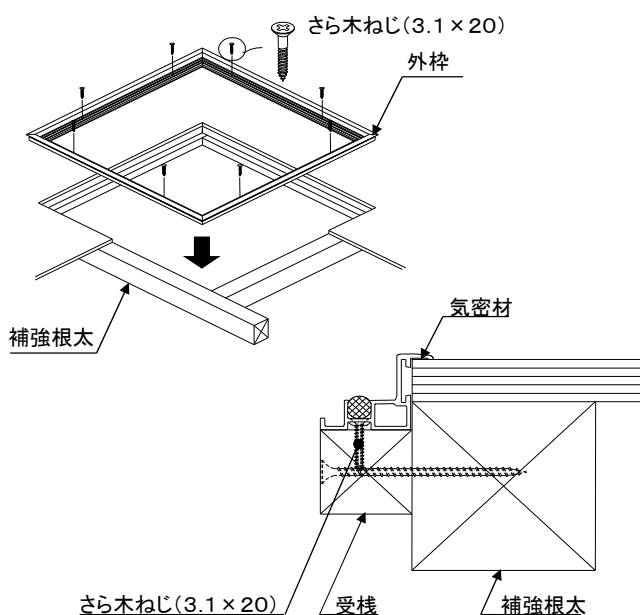
△額縁の裏側にある気密材が床材に密着するように外枠を取付けてください。気密性が低下する場合があります。

④丸パッキン材を最初に入っていたように、外枠にはめ込みます。
⑤外枠内側の切り欠き部にスペーサーを取り付けます。
(※切り欠き部全てに取り付けて下さい。)

△蓋および外枠の加工寸法の対角寸法差は1mm以内としてください。

△スペーサーには向きがあります。スペーサーの突起がある方を内側に向けて取り付けを行ってください。

△スペーサーを確実に取り付けしていないと、蓋が浮く恐れがありますので、確実にはまり込んだ状態で取り付けている事を確認して下さい。



△ 使用上の注意

- 指づめ等の恐れがありますので、蓋を開けた際は横に置いてください。
- 床面や部材を傷つける恐れがありますので、横に置いた蓋の上にはのらないでください。
- 転倒や落下の恐れがありますので、使用後はすぐに蓋を閉めてください。